

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業			評価者	総合防災課長		長崎 聡之
防安ー 08 がけ地対策事業			☒ 自治事務	主管課	総合防災課	
			☐ 法定受託事務	関連課		
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	地震対策・風水害対策の充実		

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民の保護を図るため。
効果	防災工事を施工し市民の保護を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事及び伐採工事の一部を助成したが、補正で増額し、要望すべてに対応した。
・県が指定する急傾斜地崩壊危険区域内で行われる市内の急傾斜地防災工事業費の約2割を県に支払うとともに、防災工事の促進を働きかけ指定区域の拡大を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,464人 世 帯 数 80,368世帯 事業の対象者数	177,243人 80,676世帯	人 口 176,869人 世 帯 数 80,928世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	82,307	当初予算(千円)	90,948	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	556	その他	230	
	一般財源	81,751	一般財源	90,718	
	人員配置数	2.5	人員配置数	2.5	
事業経費運営	人件費(千円)	20,488	人件費(千円)	19,519	
	総事業費(千円)	102,795	総事業費(千円)	110,467	
	市民1人当りの経費(円)	579	市民1人当りの経費(円)	625	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ⇒ 事業へ統合
	予算規模の方向性 ☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
総評(評価に対する考え方、根拠等)	県による急傾斜地崩壊防止工事や本市の防災工事助成ががけ崩れの防止に寄与しており、更に樹木の枝払いや伐採ががけ崩れの助長を抑制している。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	平成25年10月の台風26号で崩落が発生した植木地区の崖については、平成28年1月に急傾斜地崩壊危険区域に指定されました。今後は神奈川県が行う対策工事に必要な負担金で協力していく。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	心配されている近隣住民に対しては、必要に応じて情報提供を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	防災工事費の助成制度がある団体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○					○		○	
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市は他市に比べ、古都法や風致条例による山林が多くある。敷地が細分化されることで、家屋が更に崖に接近してきており、倒木や土砂崩落による被害が増大している。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	急傾斜地崩壊危険箇所(295箇所)すべてを急傾斜地崩壊危険区域に指定し、防災工事を実施。					単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
自助・共助による防災活動の充実のため	目標値	295	295	295	295		295	295		
	実績値	55	56	56	56		57	57		
	達成率	18.6%	19.0%	19.0%	19.0%		19.3%	19.3%		
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

■ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---------------------	--------------------------